

国語科（現代の国語）学習指導案

| | | | |
|-------------------------------|---|-----|----|
| 日時 | 令和4年12月6日（火曜日）5限 | | |
| 対象 | 総合学科1年4組（26名） | 指導者 | 〇〇 |
| 1 単 元 名 | 文化祭のレポート（紹介文）を推敲して、読み手の目的に合った、分かりやすい文章にしよう | | |
| 2 単 元 目 標 | <p>○文、話、文書の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できる。 〔知識及び技能〕（1）オ</p> <p>○目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直ししたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕（B 書くこと（1）エ）</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 〔学びに向かう力、人間性等〕</p> | | |
| 3 本 単 元 に お け る 言 語 活 動 | <p>文章の構成についてや、読み手の目的に合わせた文章形式について推敲する活動。</p> <p>読み手が必要とする情報に応じて分かりやすく新聞を書く活動。</p> | | |
| 4 学 習 材 | 地域行事の紹介に関する新聞記事、地域の広報誌 | | |
| 5 単 元 設 定 の 理 由 | <p>（1）学習者観：本校では「産業社会と人間」という科目において、進路探究や地域探究を行ってきた。調査やフィールドワークなどを通して分かったことを、プレゼン資料や、レポート資料にまとめる活動を学期に一回ずつ行ってきた。調査活動には大変意欲的に取り組むが、まとめる際に、調査内容を全て伝えようとして文章にまとまりがなくなってしまう、かえって伝わりにくい内容になっているものが散見された。また、取り上げる情報の重要度や優先順位が不明瞭であるために、記述の順序も不適當であるものも散見された。したがって、相手の求めている情報に即して、伝えるべきポイントを絞ったり、伝えたい主題に即して文章を構成する力を身につけさせたい。さらに、生徒が書く文章の傾向として、例えば「上級学校見学の報告書」では、不特定多数の生徒に共有する活動を行ったが、どの班も効果的な文章表現に乏しかったため、読み手を引き付ける文章表現も磨いていきたい。</p> <p>（2）指導観：本時では、あらかじめ書いておいた「文化祭についての紹介文」を用いて、読み手の立場に立って目的や意図に応じて書かれているかや、文章構成、表現などについて点検し、推敲する活動を行う。この活動を通して、読み手が必要とする情報を適切に伝えるために、伝えるべき主題を明確にする力や、伝えたい主題を分かりやすく伝えるために文章構成を活用しながら説明する力、読み手を引き付けられるような効果的な文章表現を養いたい。客観的な事実を中心に述べるのではなく、自身の経験を述べる活動なので、内容の指導に偏りすぎないように「構成」や「表現」の指導もできるように留意したい。</p> <p>（3）学習材観：文章の構成については、伝えたい情報の優先順位に基づいて述べる順序を考える力に課題がある。文章表現についても、出来事の羅列はできるものの、読み手に読んでもらえるようにどのような工夫ができるか、については生徒の中では未知の事項である。そこで、新聞記事や地域の広報誌を用いて、文章構成や、情報の重要度による順序、効果的な文章表現などについて実際に分析を行っていき、推敲に向けた事前学習としたい。したがって、これらの教材は「どのような情報を、どのような順番や構成で、どのような表現を用いて書かれているか」について一度に学べるため、効果的な教材であると考え。</p> | | |

| | 知識・技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------------|---|---|---|
| 6 単元の評価規準 | 文、話、文書の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 | 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 | 学習課題に沿って、報告書の内容や構成の工夫を考える活動に積極的に取り組もうとしている。 |
| 7 指導と評価の計画 | 主たる学習活動 | | 評価の観点・評価の方法 |
| 1次 (2時間) | <p>○「〇〇高校の文化祭」の「体育の部」「文化の部」どちらについて書きたいかを定める</p> <p>①保護者の方に向けて ②〇〇市役所「高校紹介コーナー」に貼るとして ③兄弟、親戚の兄弟に向けて ④母校の後輩に向けて ⑤同じクラス(同じ学年)の人に向けて 上記①～⑤のうちどの相手に書くか決める</p> <p>○マインドマップを作成し、①～⑤の相手に書く前提で伝えたい主題を選ぶ</p> <p>○①～⑤の相手に書く前提で下書き文書(400字程度)を作成する。字数計算の都合上、一度 word で作成し、MetaMoJi に貼り付けておく</p> | <p>[主体的に学習に取り組む態度] 【評価規準】</p> <p>学習課題に沿って、報告書の内容や構成の工夫を考える活動に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【評価方法】 「記述の点検」</p> | |
| 2次 (2時間) | <p>○ 文章がどのように構成されているか、どのような表現を用いているか、などについて新聞記事や地域の広報誌を用いて MetaMoJi を使ってグループで分析する</p> | <p>[知識・技能] 【評価規準】</p> <p>文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(知識・技能)</p> <p>【評価方法】 「記述の点検」</p> | |
| 3次 (2時間) うち1時間目が本時 | <p>○ 1次で書いた「文化祭についての紹介文」について、同じ担当同士で推敲する。</p> <p>○ 推敲した内容を活用して、書き直す。</p> <p>○ 完成した新聞記事をクラス内で共有する。</p> | <p>[思考・判断・表現] 【評価規準】</p> <p>目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(書くこと・エ)</p> <p>【評価方法】 「記述の点検」 「記述の分析」</p> | |

本時案

| | |
|---------|--|
| 本時の目標 | 目的や意図に応じて内容や文章構成を工夫して書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる【書くこと】 |
| 本時の評価規準 | ワークシートにおいて、2回目のリライトを、話し合いの結果を踏まえた上で推敲して書くことができ、その理由に妥当性がある。 |

展開

| 学習活動 | 指導内容・指導上の留意点 | 時間 | 評価の観点・評価方法等 |
|---|--|------------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標、活動内容を確認する ○ 書く相手別に5つの班に分かれておく | <ul style="list-style-type: none"> ○本時の目標、活動内容を確認させる(本時すべてでMetaMoJi使用) (相手) ①保護者の方に向けて②〇〇市役所「高校紹介コーナー」に貼るとして ③兄弟、親戚の兄弟に向けて ④母校の後輩に向けて ⑤同じクラス(同じ学年)の人に向けて | 5 | |
| <p>課題：「〇〇高校の文化祭」を知らない人にも、伝えたいことが的確に伝わるようにするためにはどのような工夫ができるだろうか？</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の方に向けて文章を書いた班、など書く相手ごとに班に分かれ、同じ班内で「良いところ2つ」「助言2つ」を付箋で記入する ※MetaMoJiの付箋機能使用 ○助言された情報をもとに「2回目」を書く ○「1回目」と比べて工夫した点を理由とともに記述する ○「2回目」の内容および工夫した点とその理由をクラス全体で共有する | <ul style="list-style-type: none"> ○何を助言して良いか分からない生徒には、2次で扱った新聞や地域の広報誌についての内容分析をまとめた資料を再度提示し、「具体的にどのようなことについて推敲すれば良いのか」のヒントにさせる 【期待する推敲結果】 ・もう少し主題を明確にしないと、何を伝えたいのかわかりにくいのではないかな ・出来事を順に全部書くのではなく、取り上げたい一場面だけにするのはどうか ・注意喚起の内容にしたいのであれば、もう少し表現を柔らかくすると読み手が受け入れやすいのではないかな ・この言葉(表現)は生徒内なら分かるが、保護者の方には伝わらないのではないかな | <p>20</p> <p>20</p> <p>5</p> | <p>【思考・判断・表現】 書くこと エ</p> <p>【評価の方法】 記述の点検(ワークシート) 行動の観察</p> <p>【B評価】 ワークシートにおいて、2回目のリライトを、話し合いの結果を踏まえた上で推敲して書くことができ、その理由に妥当性がある。</p> |